

ふれあうナカマ

育む
見守る

ち、近くはない?

育む
見守る

ふれあうナカマ

音楽に合わせて
イルカジャンプ

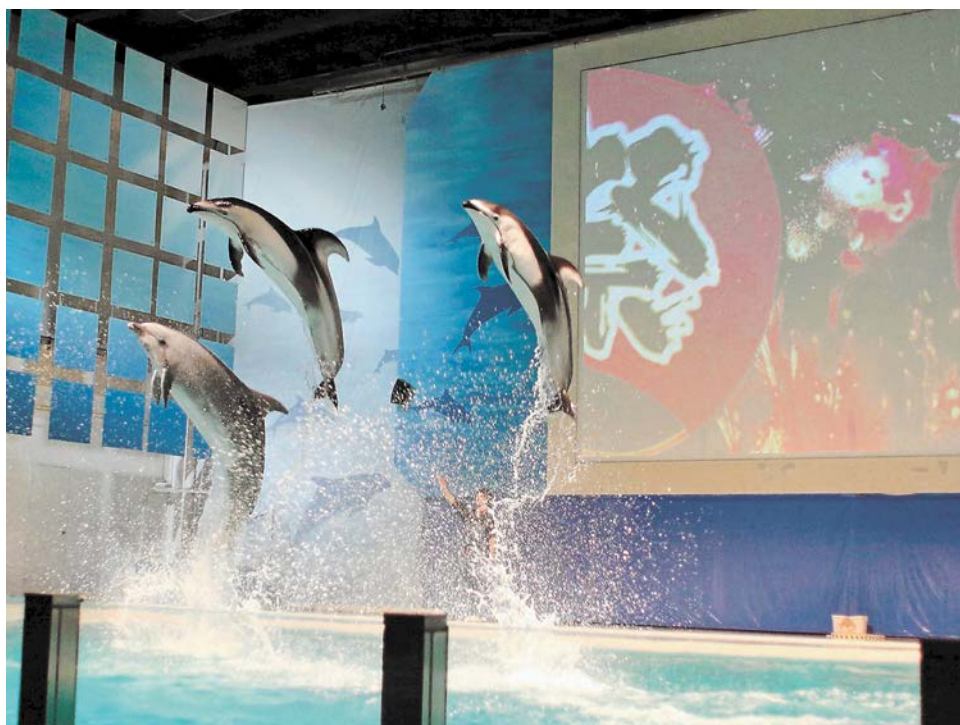
浅虫水族館

(青森市)

自然豊かな青森県に生息する生き物をはじめ、多様な水生生物を約300種1万点展示する本州最北端の水族館です。屋内プールでのイルカパフォーマンスでは、青森らしく津軽三味線やね

ぶたばやしをイメージした音楽に合わせて、イルカたちがダイナミックにジャンプ。ペンギンやアザラシなどが泳ぐ姿を間近に見ることが出来る「海獣館」、海の生き物を直接触って観察できる「タッチコーナー」も好評です。

4月にはゴマファザラのメイが雌の赤ちゃんを産みました。すくすく



ダイナミックなジャンプを見せる浅虫水族館のイルカたち

育ち、最近はママに近い大きになりました。連絡先は017(752)3377。

(石田勝則さん)

「仮面ライダー」
歴代マスク展示

石ノ森萬画館

(石巻市)

登米市出身の漫画家石ノ森章太郎先生の作品世界を再現したミュージアムで、2001年、石ノ森先生が少年時代に通った映画館(岡田劇場)のそばに建てられました。

石ノ森先生が生んだ「仮面ライダー」の歴代ライダーマスクの展示、石巻のヒーロー「シージェッター海斗」の映画が人気です。映画は仮面ライダーの撮影スタッフが作った本格的な作品で、ここでしか見られません。漫画は日本が誇る文化。「漫画の王様」と呼ばれる石ノ森先生は、今

も多く読者や漫画家に影響を与えています。自分の考えをいろいろな方法で表現できる大人

になれるよう、萬画館で学んでみてください。連絡先は0225(96)5055。

(高橋智之さん)

お城をイメージ
ドレスの試着も

リカちゃんキャッスル

(福島県小野町)

キャラクター人形「リカちゃん」が、大切に生み育てられているお城をイメージしています。リカちゃんが一休一休丁寧に作られる工程を見学でき、「来た人にもものを大事にする心を育ててほしい」と願っています。

ドレスを着てリカちゃんのお部屋で遊んだり、お花いっぱいのアップルガーデンを散歩したりと、リカちゃん気分を楽しめます。1967年生の初代から現在の4代目まで、長年愛されてきたリカちゃんとファミリー、ボーイフレンドなどの見学もできます。

連絡先はメール sales@lccastle.co.jp (博多よしのさん)

魅力たっぷり東北の観光施設

近い距離が特徴
トラなども人気

大森山動物園

(秋田市)

「動物と語らう森」をテーマに、動物との距離が近いことが特徴です。フラミンゴの子育て、空の王者・ニホンイヌワシを間近で見られます。アムールトラ、ユキヒョウなども人気です。

最近サル山で赤ちゃんが生まれ、よく探すとかわいい姿が見られます。多くの動物が冬毛から夏毛に変わり、フタコブラクダやトナカイはともスリムになります。

どの動物も関わり合って世界ができており、1種類でもいなくなれば必ずみが出ます。人間も動物も共存していくために何が大切か、ご家族で話し合ってみましょう。

連絡先は018(828)5508。

(三浦匡哉さん)

サクランボ狩り
甘く大きい実を

牧野観光フルーツ園

(上市市)

旬のサクランボ狩り

のんびり暮らす
ポニーやヒツジ

モーランド本吉

(気仙沼市)

太平洋を望む小高い丘の上にある52ヘクタールの緑豊かな牧草地で、牛やポニー、ヒツジなどの動物がのんびり暮らす牧場です。子どもたちの一番人気は、123頭の滑り台をマットに乗って滑るローラースライダー。落差20メートルを一気に滑り降りる気分は爽快です。

ポニーの乗馬、ヤギやウサギ、ニワトリとの触れ合い、地元で生産された新鮮な牛乳や生クリームを使ってバターやチーズ、アイスクリーム作りをするなど体験メニューがいっぱいあります。

バーベキューもできるほか、地元産の生乳を

が楽しめる農園です。約5ヘクタールの敷地で、人気の「佐藤錦」や「紅さやか」「紅はまれ」など10種類以上のサクランボを1000本を超える木で栽培しています。こころしは雪が少なく春にちょうどいい量の雨が



モーランド本吉で子ヤギへのえさやりを体験する子どもたち

原料にした牧場ヨーグルトなどの乳製品を売店で購入できます。

連絡先は0226(43)2468。

(金野恵美さん)

降ったおかげで、甘くて大きい実がなりました。今月中旬から7月中旬ごろまでがサクランボ狩りのシーズンです。

園内は平らで子どもからお年寄りまでどなたでも楽しめる、ペットを同伴できるスペースもありま

す。直売もしているほか、自分で摘んだサクランボを有料で持ち帰ることもできます。

連絡先は023(674)3305。

(木村周司さん)